

「新築一棟投資法」を推薦します



元経済産業省官僚
慶応義塾大学大学院教授

岸 博幸 氏

人生100年時代に備える 不動産投資という選択肢

日本人の平均寿命は年々上昇し、現在の現役世代の平均寿命は100歳になるとも言われています。

一方、少子高齢化や経済の減速が進み、年金制度が維持できなくなる可能性は高く、定年後に向けた資産構築は多くの方々にとって重要な課題であり、決して他人事ではありません。

個人が資産運用をし、将来に備えるには、長期的かつ計画的な分散投資が必要となります。そこで、投資の選択肢のひとつとして、長期的に安定したリターンを得ることが可能な、東京圏での不動産投資をやるべきだと思います。

不動産投資なら東京圏で利便性重視の立地を

「利便性」が重要視される現在において、不動産投資では立地が極めて重要です。

今後、人口流入も増え、魅力ある世界都市としても成長し続ける東京圏に、見えないリスクをはらむ中古物件ではなく、品質の高い新築で作り上げるインベストオンライン社の「新築一棟投資法」は非常に理にかなった投資法であると考えます。

経済学者

岸 博幸